

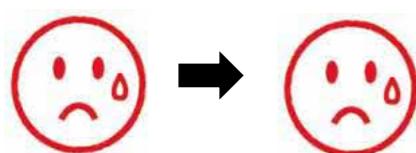
建設業

回答率：100% (25/25)



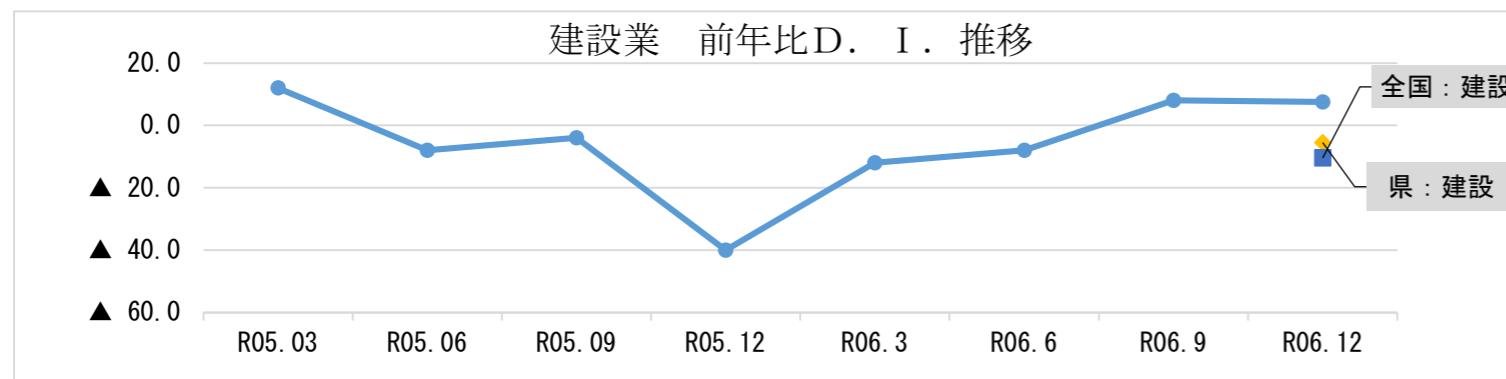
今期

見通し



■丹波市の景況推移

原材料価格の高騰・高止まりが継続しており利益を圧迫している。また、住宅設備関連の値上げが行われる見込みであり駆け込み需要が予想される。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】
店舗リフォーム等を中心に売上が増加。材料費等の物価高騰に伴い利益幅は減少しているが、受注は続いている。引き続き建築資材の高騰の影響もあり、新築住宅では大手住宅メーカーとの価格差が大きく、受注することが難しい状況が続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

4月より住宅設備関連の値上げの予定があり駆け込み需要が見込めそうである。建築資材の高騰の影響もあり新築住宅では大手住宅メーカーとの価格差が大きく、受注することが難しい状況が続いている。今年、建築基準法の改正が予定されており、一層、地元の建築業者が一般の新築住宅を請け負うことは難しくなることが予想される。

■全国の景気動向

土木工事関連では原材料や燃料等の高騰が続き利益確保が難しい中で、人材の流出を防ぐために賃上げせざるを得ず、厳しい経営環境にさらされている。ガソリン補助金縮小により、建設機械や工事車両の燃料コストが高騰している。既存の工事契約案件においては価格転嫁が難しく、事業者の長期的に利益を圧迫する状況が続くと見込まれる。

■県下の景気動向

業況は前回調査より売上・収益共に改善したものの、以前マイナスDIの状況である。土木関連は公共工事が少ない状況が続いている。建築関連では、生コンなど外構資材や設備関連の価格上昇が予想され駆け込み需要がみられる。

■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	0	4	0	0	8	32.0%
不变	1	8	0	0	2	2	13	52.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	2	1	0	1	0	4	16.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

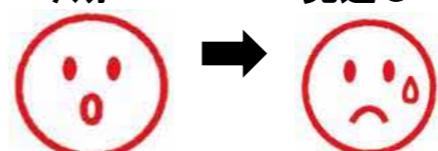
製造業

回答率：100% (25/25)

2024年10月～12月期調査

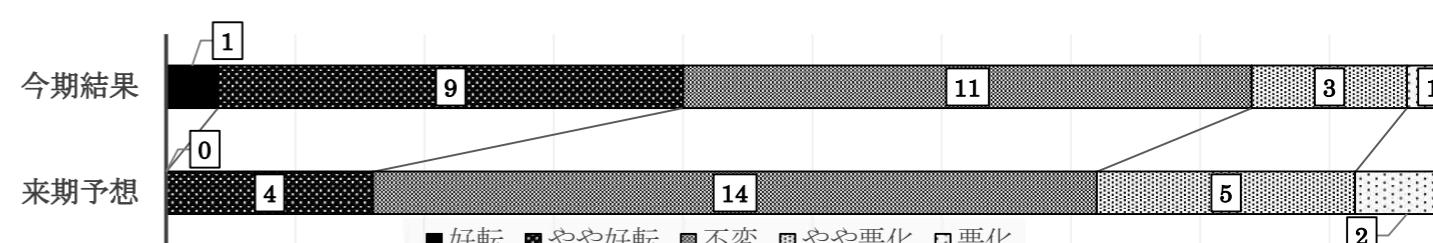
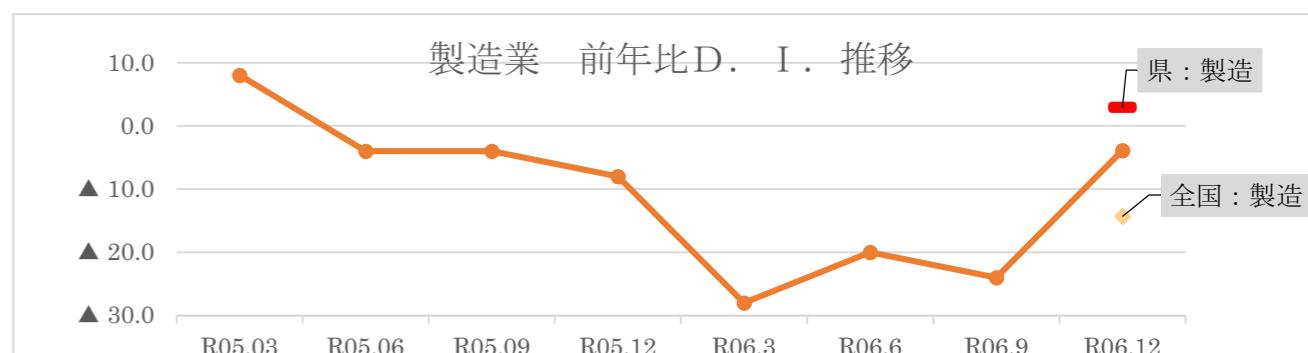
今期

見通し



■丹波市の景況推移

DI上は改善傾向にあるが、個社の実態を見ると手放して喜べない状況にある。原材料高等の物価高騰の速度が価格転嫁の抑制等の企業努力を上回るため、企業は利益を削って対応している状況にある。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

県平均の水準には至らないがDI値は好転傾向が見られる。しかしながら売上増加先でも原材料高・人件費高騰により採算性は大きく悪化、売上が減少している先は資金繩りが悪化する等の影響が出ている。

【丹波市の来期の景況予想】

プラス材料が乏しく好転予想が減少している。下請が工賃アップを求めて、元請が価格転嫁の必要性を感じていないケースも散見され、利益を確保できない事業者の継続モチベーションが下がり撤退を考える声も見られる。

■全国の景気動向

売上・業況・資金繩りDI共に微減している。生鮮食品の値上がり等による食品価格の高騰により、年末セールチラシの印刷数減少や衣類製品等の買い控えが起こる等、消費者の購買意欲低下に直結した低迷傾向がうかがえる。

■県下の景気動向

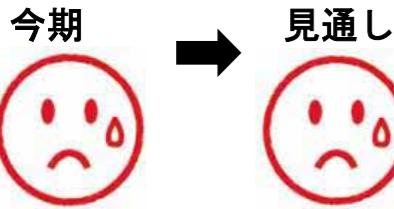
前回調査同様に多くのDI指標が改善、久しぶりにマイナス脱却となったが次期は一転し大幅減速予想となっている。特に原材料高と人手不足により、既存先との取引では採算が合わず新規先を模索する傾向が強く表れている。

■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	2	3	2	2	1	11	44.0%
不变	0	1	2	1	1	0	5	20.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	6	0	0	0	2	9	36.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

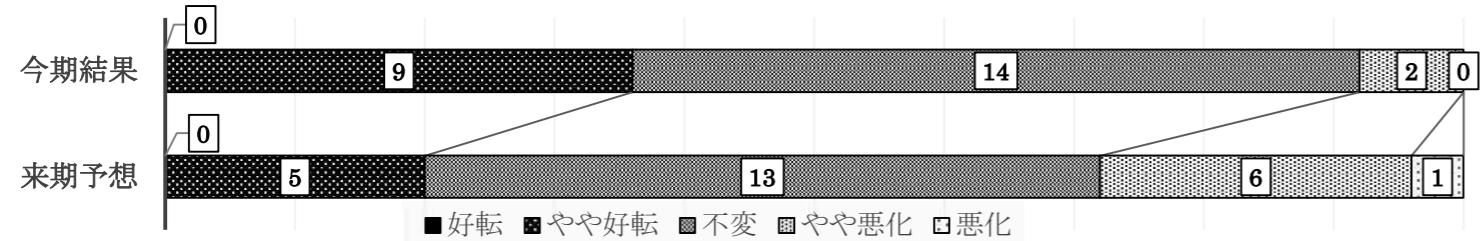
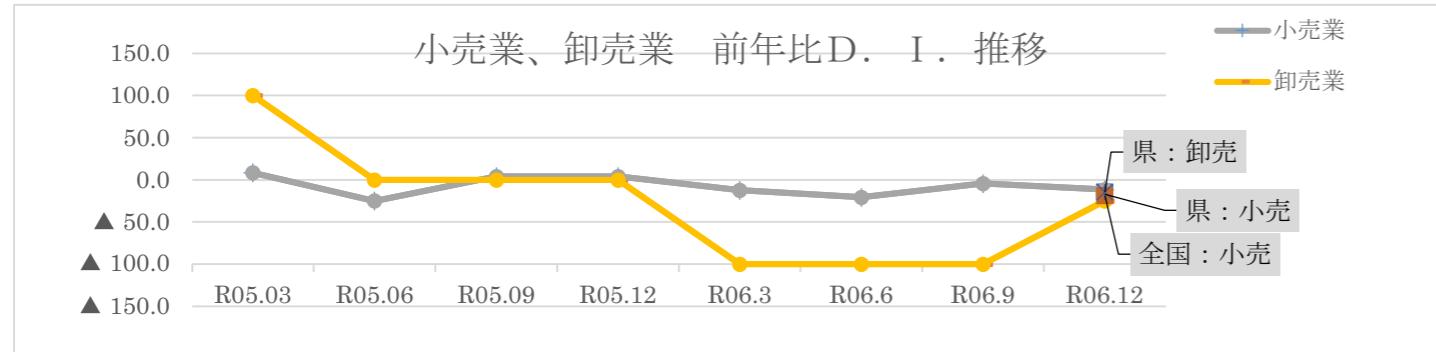
小売、卸売業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移

食品小売業では、客数、売上は例年通りの水準を維持しているが仕入や家賃などのコスト面が上昇し、利益が減少している。婦人服小売業では、他の大手が強いため年々売り上げは減少する等依然厳しい状況が続いている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

婦人服小売業では、ネット販売やSNSでの集客等様々な手法を試みているものの、他の大手が強いため年々売り上げは減少する等依然厳しい状況が続いている。一方で勉強会等積極的に参加し取引を拡大することができたとの声もある。ガソリン販売業では、補助金制度が廃止となり、値上げ幅が大きくなっていると運送業者には大きなマイナス影響が出ると思われる。

【丹波市の来期の景況予想】

空調機器や住宅設備等仕入れ価格が4月に値上げされることが決定しており3月に駆け込みが予想される。またガソリン等の高騰により生活への影響も大きくなることが予想される。

■全国の景気動向

小売業の全業種において、売上DIが大幅に上昇し、年末年始の需要増加の影響を受けた。消費者の節約志向が高まる中、価格設定や商品戦略に工夫を凝らす事業者が増えており、今後もそういった取り組みの重要性が増していくと思われる。

■県下の景気動向

衣料品小売業では諸物価値上げのため、消費者が節約志向を一段と強めており消費動向は悪化している。食料品小売業では物価高騰や人口減少による需要の衰退が激しい。耐久消費財の売り上げは前年対比で増加するも業況は横ばいの状況。

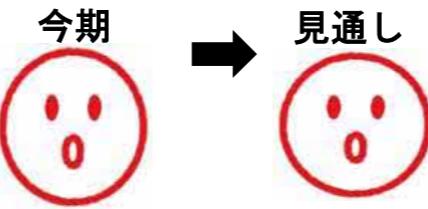
■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	3	0	0	1	2	8	32.0%
不变	3	6	0	2	2	0	13	52.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	0	0	3	0	0	4	16.0%
合計	6	9	0	5	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

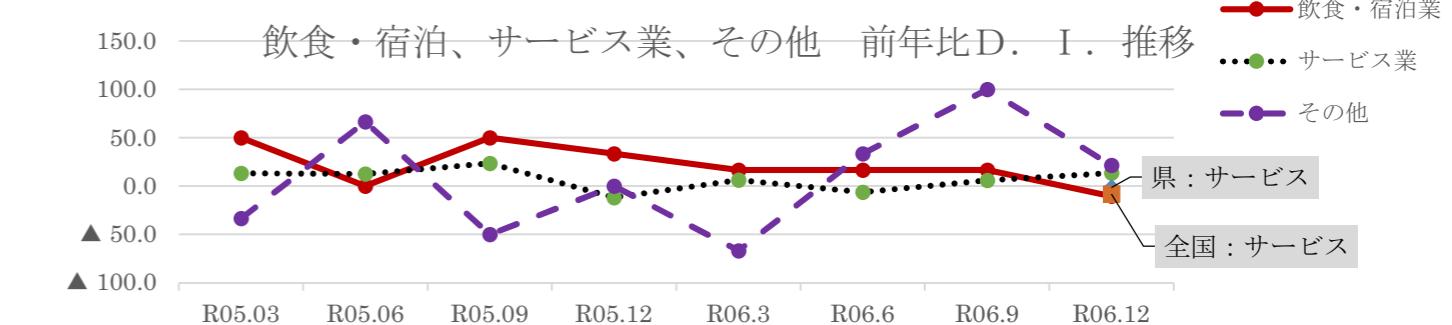
回答率：100% (25/25)

2024年10月～12月期調査



■丹波市の景況推移

コロナ禍後も客足は完全には戻らず、特に団体客の回復が遅れている。物価高騰で利益確保が難しく、人材不足も続く。宿泊予約は徐々に改善しているが、最低賃金の上昇が利益を圧迫している。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

コロナ禍以降、お客様の戻りは100%ではない。特に団体客の予約状況はあまり回復していない。物価高騰の影響も大きく、利益確保が非常に難しい状況。宿泊予約状況は少しずつ改善。但し、どの業種とも人材不足が解消されずにいる。また最低賃金も年々上昇しており、利益圧迫に拍車をかけている。

【丹波市の来期の景況予想】

建築資材、米、野菜、燃料などの物価は引き続き高騰しており、それに伴い、各事業者は需給の動向を見極めながら、サービス価格の引き上げなどの対応を続けている。こうした状況を踏まえ、業務効率の向上に取り組む事業者や、新たな事業へ進出する事業者が増えており、これまで以上に自社に適した対応が求められている。

■全国の景気動向

観光地を中心にインバウンド需要による宿泊客の増加が目立つ。また、高齢化の流れを受け、医療や介護、観光需要などの需要は増加傾向にあるが、同時に人手不足の解消が課題。クリーニング関連事業者は売上安定の事業者と撤退する事業者と二極化が進む。全体的には物価高騰の影響を受け、事業者としては厳しい状況が続いている。

■県下の景気動向

神戸、姫路、城崎温泉等、観光地ではインバウンド客が増加。物価高騰に伴いサービス業の客単価は増加しているが、全体として客数は微増。兵庫県全体としては緩やかな回復傾向と言えるが、先述した観光地等のインバウンド客増加など一部の需要が伸びており、全体の景気がまんべんなく良くなったとは言い難い。

■地区ごとの回答 (前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	5	1	2	1	0	10	40.0%
不变	2	2	2	2	2	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	1	1	0	0	0	4	16.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%